



ヒント 話し手は、相手や場にに応じて話す内容や話す順序、表現する言葉、声の大きさや身振りなど、さまざまなることを工夫して、自分の考えをより明確に伝えるように話します。聞き手は、評価する観点を表にして、よかったところ、さらに改善できるところを考えながら聞きましょう。



表現の工夫を評価する

スピーチを評価するには、評価する観点を決めて聞くことが大切です。観点を決めて、話の展開を予想しながら聞き、表現の工夫を評価しましょう。

話題

構成・考えの形成

表現・共有



評価しながらスピーチを聞く

目標

- 相手や場に適した言葉を用いたスピーチになっているかを確かめる。
- 評価しながらスピーチを聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりする。

評価する方法

スピーチ「中学校生活で学んだこと」

	Plus よいところ	Minus さらによく できるところ	Interesting おもしろい ところ
内容	経験したことと学んだことが関連している。	協力し合うことも加えるとよい。	2年生と3年生の立場の違いの部分。
構成 展開	最初に何について話すかを伝えていてわかりやすかった。	印象に残ったエピソードから始めてもよい。	
表現	一文が短めでわかりやすかった。	会話や心内語を入れてもよい。	
話し方	声の大きさが聞き取りやすかった。	聞き手の様子を見て、間のとり方を変えるとよい。	



学習活動の流れ

話題

話す活動

1 中学校生活を振り返り、自分が何を学んだか、それが今後の自分の生活とどのようにつながるかについて考える。

聞く活動

1 スピーチのテーマを確かめて、評価する観点を決める。

構成・考えの形成

2

どのように伝えるかを考えてスピーチ原稿を作成する。

3

スピーチをする。

2

評価の観点を意識しながらスピーチを聞く。

表現・共有

3

スピーチを互いに評価し合い、表現の改善に生かす。

評価するときのポイント

話す内容

- ・場や目的にふさわしい内容か。
- ・経験と学んだことが具体的に、それぞれの内容の関係が適切か。

構成・表現

- ・わかりやすいか。
- ・ひきつけられるような工夫があるか。

話し方

- ・声の大きさ、速さが適切か。
- ・間のとり方や抑揚、目線、身振りなどを工夫しているか。

全部を評価しきれない場合は、観点をしぼったり分担して聞いたりするの也不错。

よいところも改善点も、具体的に話し合うことが大事だね。



中学校生活で学んだこと

私は、中学校生活を振り返り、卒業してからも大切にしたいと考えていることについて話します。

三年生のときに、合唱コンクールの実行委員としてタイムテーブルを作り、それを後輩に指示する立場になりました。これまでは、先輩の指示に従って動いていたので、自分がどのように指示したらよいかわかりませんでした。そのとき、周りの友達からアドバイスをもらったり、先輩にきちんと伝わっているかを確認したりすることで、大きなトラブルもなく、合唱コンクールを成し遂げることができました。この経験から自分ではどうすればよいかわからない場合には、周りの人の意見を聞くことが大切だと学びました。

また、文化祭での出し物を計画したときには、うまくいくかどうか不安になりました。しかし、クラスのみんなで話し合って、自分の意見とみんなの意見のよいところを取り入れて準備することで、想像以上にすばらしい出し物にすることができました。

これからも大切にしたいことは、「周りの人の意見を聞くこと」と、「みんなで意見を出し合うこと」の二つです。自分の仕事に責任をもち、よいものを作り上げる楽しさを学べたことを、私は今後のさまざまな経験の積み重ねにつなげたいと思います。

言葉・情報

私は……について話します。(課題の設定)



聞き方の例

最初に何を話すかを伝えていて、わかりやすいなあ。



取り上げるべきことやそのときの気持ちから始めてもおもしろいかもしれない。



経験と学んだことを関係づけていて、共感できるね。



振り返り

□ 話し手の使う語句や表現の仕方に注意してスピーチを聞いているか。

□ 評価しながら聞いたことで、自分のスピーチを改善しているか。

学びを生かす

面接の練習をし合うときなどに役立てよう。

